

業界・行政・エース

泥土リサイクル協

高専テクノフォーラムで講演

新ビジネスモデルを説明

泥土リサイクル協会

(木村孟理事長)は20日、名古屋市内で開催した「第11回全国高専テクノフォーラム」の中で講演を行った。

同フォーラムは、高専制度創設50周年を記念して「進化する高専」をテーマに開催された。フォー

ラムでは、参加登録した354人の講師の一人として、同協会の野口真一事務局長が「廃石ころぼドリサイクルのビジネスモデル構築」をテーマに講演した。協会のテーマでもある産業界全体を視野に入れた「新しいビジネスモデル」をもとに、廃石ころぼドリサイクルについて高専と企業がコラボレーションできることを熱く語った。これは、富山高専専門学校の袋布昌幹准教授やチヨダウーテなどの研究開発で、固化材の活用方法を探るため、建設汚泥のリサイクル、廃石ころぼ

ラムでは、参加登録した354人の講師の一人として、同協会の野口真一事務局長が「廃石ころぼドリサイクルのビジネスモデル構築」をテーマに講演した。協会のテーマでもある産業界全体を視野に入れた「新しいビジネスモデル」をもとに、廃石ころぼドリサイクルについて高専と企業がコラボレーションできることを熱く語った。これは、富山高専専門学校の袋布昌幹准教授やチヨダウーテなどの研究開発で、固化材の活用方法を探るため、建設汚泥のリサイクル、廃石ころぼ

ラムでは、参加登録した354人の講師の一人として、同協会の野口真一事務局長が「廃石ころぼドリサイクルのビジネスモデル構築」をテーマに講演した。協会のテーマでもある産業界全体を視野に入れた「新しいビジネスモデル」をもとに、廃石ころぼドリサイクルについて高専と企業がコラボレーションできることを熱く語った。これは、富山高専専門学校の袋布昌幹准教授やチヨダウーテなどの研究開発で、固化材の活用方法を探るため、建設汚泥のリサイクル、廃石ころぼ

ラムでは、参加登録した354人の講師の一人として、同協会の野口真一事務局長が「廃石ころぼドリサイクルのビジネスモデル構築」をテーマに講演した。協会のテーマでもある産業界全体を視野に入れた「新しいビジネスモデル」をもとに、廃石ころぼドリサイクルについて高専と企業がコラボレーションできることを熱く語った。これは、富山高専専門学校の袋布昌幹准教授やチヨダウーテなどの研究開発で、固化材の活用方法を探るため、建設汚泥のリサイクル、廃石ころぼ

ラムでは、参加登録した354人の講師の一人として、同協会の野口真一事務局長が「廃石ころぼドリサイクルのビジネスモデル構築」をテーマに講演した。協会のテーマでもある産業界全体を視野に入れた「新しいビジネスモデル」をもとに、廃石ころぼドリサイクルについて高専と企業がコラボレーションできることを熱く語った。これは、富山高専専門学校の袋布昌幹准教授やチヨダウーテなどの研究開発で、固化材の活用方法を探るため、建設汚泥のリサイクル、廃石ころぼ

ラムでは、参加登録した354人の講師の一人として、同協会の野口真一事務局長が「廃石ころぼドリサイクルのビジネスモデル構築」をテーマに講演した。協会のテーマでもある産業界全体を視野に入れた「新しいビジネスモデル」をもとに、廃石ころぼドリサイクルについて高専と企業がコラボレーションできることを熱く語った。これは、富山高専専門学校の袋布昌幹准教授やチヨダウーテなどの研究開発で、固化材の活用方法を探るため、建設汚泥のリサイクル、廃石ころぼ



説明する野口事務局長(左側)

ドリサイクルなどの提るまでの活動内容を説明案、業界の人材育成に至した。